

◎警察本部長(横内泉君) 議員御指摘のとおり、治安回復に向けたこれまでの取り組みにより、刑法犯や人身交通事故が減少し、数字の面では治安は着実に改善されてきていると考えておりますが、体感治安に関する意識調査の結果や県民の身近で発生する犯罪の現状を見ますと、いまだ県民が安全、安心を身近に感じているとはいいがたい状況にあります。

このような現状を踏まえ、昨年12月に策定いたしました「安全・安心くまもと」実現計画では、県民が期待する力強い警察活動を強化するため、基本目標として、犯罪及び交通死傷事故の抑止目標に加え、新たに、県民の生活を脅かす犯罪に対する検挙目標を掲げたところであり、パトカーや制服警察官による街頭でのパトロールや検挙活動など、警察にしかできない活動を強力に推進していきたいと考えております。

他方、近年の防犯ボランティアの増加など、みずからの手で町の安全、安心を確保しようとする機運の高まりを受け、自治体、学校、各種ボランティアなど、地域社会との連携を一層深め、通学路における子供の見守り活動や交通安全活動など、犯罪や事故を抑止するための地域に根差した活動を協働して推進していきたいと考えております。

こうした方向性のもと、実現計画では、犯罪抑止総合対策、交通死傷事故抑止対策、県民が解決、摘発を望む犯罪の徹底検挙、少年非行防止対策、暴力団等組織犯罪対策など8つの対策を柱に、警察独自で、あるいは警察と地域社会が連携、協働して行う27の施策を強力に推進することとしております。

今後、節目節目で、その進捗度や効果を検証し、第一線における警察官の配置など推進体制を含めた施策の見直しを行いながら、県警察の総力を挙げて、安全、安心な熊本県の実現を目指してまいります。

〔瀧上陽一君登壇〕